

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4390
23年10月13日(金)
TEL・FAX 095-828-1953
文責 支部書記長

置き配でポイント付与？ 再配達削減なるか

おはようございます。

長崎くんちも終わり、今年も残り3ヶ月を切りました。日中は暖かい日が続いていますが、朝晩は冷え込んでいます。この時期は昼夜の温度差で体調を崩しやすいので体調管理には注意しましょう。

政府は6日午前、トラック運転手の人手不足が深刻化する「物流2024年問題」への対策を協議する関係閣僚会議を開き、「物流革新緊急パッケージ」を取りまとめました。再配達率の半減に向けて「置き配」利用者にポイント付与する制度や、鉄道・船舶の貨物輸送量を今後10年程度で倍増することなどが柱となっています。

「緊急的な取り組み」と位置付け、自宅の玄関前などに荷物を置く「置き配」やコンビニでの受け取りを選んだ消費者にポイント還元するとしています。具体的な仕組みは今後詰め、できるだけ早く実証実験を始め、再配達率を現状の12%から24年度に6%へと半減させることを掲げています。



物流問題で度々議論されている再配達問題。政府は現在、対面で受け取りを希望している人でもポイントを付与すれば「置き配」での受け取りに変更してもらえると考えているようですが、ポイント付与率や付与の仕組みなど全く示されない中で、「ポイント付与」だけが独り歩きしている状態では現実味はありませ

国(政府)のポイント施策と言えば「マイナポイント」が思い出されま

す。マイナナンバーカードやキャッシュレス決済の普及促進を目的とした国の施策でマイナンバーカードを新規取得した方への最大5,000円分と健康保険証の利用登録、公金受取口座の登録をした方へ、それぞれ7,500円相当のポイントが付与され、最大20,000円相当のポイント付与が受けられました。このポイントのインパクトは大きくマイナンバーの取得率アップに大いに貢献しました。



スマホの普及で買い物をした時にバーコード決済などで支払えばポイントが付与され、溜まったポイントは現金として使える事ができるのでポイント好きの日本人も多いはず。このポイント

好きを狙って国(政府)は2匹目のドジョウを狙っているようですが、再配達削減に至るまでには、課題が多く簡単ではなさそうです。

また、10月以降も継続中の「情報収集選手権」でもポイントが付与され報労に結びつくようになっていきます。我々の職場でも「ポイント付与」を名目に様々な施策が行われていますね。



今後のスケジュール

正社員には日々の業務の貢献度に応じてポイントが付与され、ポイント数に応じて支給される業績手当があります。ポイントの単価は班(チーム)に配分された原資を総ポイント数で割って1ポイントの単価が決まります。1ポイント単価×ポイント獲得数で手当額が決まります。因みに業務の手当では、非番日や年休などは6ポイント付与されますが、病休などは0ポイントです。長期の病休で休む社員が班内にいる場合は1ポイントの単価が上がるようになります。



- 10月14日(土) 第80回長崎地区労定期大会
- 13時30分～17時 地区労会館5階講堂
- 10月21日(土) 郵政ユニオン長崎中郵支部第12回定期大会
- 10時～13時 長中局 4階会議室
- 10月21日(土) 郵崎労結成30周年記念レプション
- 15時30分～ ホテルニュータダ

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。 期間雇用社員の希望者全員が正社員化を。 めげせ、均等待遇、なげんご差別。 ユニオンは労契法裁判に勝利したぞ！

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎のホームページはこちら

